

年 組 氏名

[Blank box for name and class]

1 まず、下の新聞記事をじっくり読んでみてください。(朝日小学生新聞より)

晴れた日は日差しがポカポカと暖かく、外で遊ぶのも気持ちのいい季節になってきました。今月5日は二十四節気の「啓蟄」でした。啓蟄とは、寒い冬の間、土ごもりしていた虫などが暖かくなって外にはい出てくるころ、という意味です。天気の良い日に、散歩しながら自然に目を配ってみると、カエルやチョウなどの生き物に出合う機会も増えてくると思います。

本格的な暖かい春が近づくと、まだ冬の名残の冷たい空気がただよっていることなどから、天気も気温も変化がはげしく、なかなか安定しない時期です。春本番のように暖かくなったと思えば、冬のように寒い日も出てくることもあり、気温の急激な変化に注意が必要です。

天気図を見ると、日本付近は低気圧や高気圧が交互に通り返りやすい季節になってきています。冬から春へと季節が進んだ証拠ですが、晴れは長続きせず、晴れたと思えば雨が降りだすなど、短い周期で天気が変わりやすくなります。

低気圧からのびる前線が通過するときには、特に気温が急降下しやすく注意が必要です。

実際に去年の3月、東京ではお昼ごろは19度近くあった気温が、夕方からみるみる下がり、夜には15度台になるなど、

半日で10度以上も気温が急降下した日がありました。昼間はシャツ一枚で過ごせても、夜には冬のコートが欠かせない寒さです。

暖かい空気と冷たい空気がぶつかり合うことで発生する雷も起こりやすくなります。啓蟄の今ごろの時期に鳴る春の雷を「虫出しの雷」と言います。昔の人は、冬眠している虫たちの目覚ましは、春の雷とイメージしたようです。想像してみると、ちょっとおもしろいですね。

この時期の雷は夏の雷ほど大雨をもたらすことはありませんが、時には強い雨が降ったり、氷のかたまりであるひょうが降ったりすることもあり、農作物に大きな被害が出ることもあります。

雷が鳴る音や、空が急に暗くなるなど天気が急に変わってきた場合は、早めに安全な建物に移動してください。急な暖かさや寒さで体調をくずさないように気をつけましょう。

2 「啓蟄」(けいちつ)とは、どんな意味ですか。

寒い冬の間、土ごもりをしていた虫などが暖かくなって外にはい出てくるころ

3 「啓蟄」の今ごろの時期になる雷を何の雷と言いますか。

虫出しの雷

4 「啓蟄」の日は、何月何日ですか。

3 月 5 日

5 特に、気温が急降下しやすいのは、どんなときですか。

低気圧からのびる前線が通過するとき